

## 2021年6月度 高島屋営業報告

### 〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

(株)高島屋 計 <sup>※1</sup>	+1.4	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+1.7
(株)高島屋 既存店計 <sup>※2</sup>	+2.6	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計 <sup>※2</sup>	+2.9

### 〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大阪店	+2.3	△23.9	柏店 <sup>※3</sup>	△2.6	△0.1
堺店	△1.2	+5.7	(株)高島屋 各店 計	+1.0	△6.1
京都店 <sup>※3</sup>	+2.0	△6.7	(株)高島屋 各店 既存店計 <sup>※2</sup>	+2.3	△3.9
泉北店	△5.6	△12.2	岡山高島屋 <sup>※4</sup>	△8.5	△66.8
日本橋店	+0.8	△0.8	岐阜高島屋	+36.6	△2.9
横浜店 <sup>※3</sup>	+5.5	+8.0	高崎高島屋	△0.9	△4.2
新宿店	+9.5	△2.7	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+1.4	△9.3
玉川店	+1.0	△0.4	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計 <sup>※2</sup>	+2.7	△7.3
立川店	△6.1	△4.9	法人事業	+10.5	
大宮店	△8.1	△6.6	クロスメディア事業	△1.6	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※3. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高をそれぞれ含みます。

※4. 2021年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」の売上を含む前年実績との対比です。

### 〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社		
衣料品	△3.5	△3.5	食料品	+2.6	+2.3	サービス	+8.3	+8.1
紳士服・洋品	△7.3	△7.6	生鮮食品	△1.9	△2.6	その他	+9.1	+8.0
婦人服・洋品	+1.5	+1.2	菓子	+7.1	+6.7			
子供服・洋品	△20.1	△18.2	惣菜	+7.3	+7.0	合計	+1.4	+1.7
その他衣料品	△18.4	△17.3	その他	△1.5	△1.5			
身のまわり品	+8.9	+12.8	食堂・喫茶	△4.8	△4.8			
家庭用品	△3.5	△3.6	雑貨	+0.0	△0.4			
家具	△1.6	+0.2	化粧品	△11.1	△11.5			
家電	△9.4	△9.2	美術・宝飾品・貴金属	+17.7	+18.1			
その他家庭用品	△3.2	△3.8	その他	△12.4	△11.9			

○百貨店は、緊急事態宣言による一部店舗の臨時休業の影響がありましたが、高額品の好調により前年実績を上回りました。

店頭売上 前年比+ 1.4% (既存店計+ 2.7%) 前々年比△15.6% (同△14.2%)

免税売上 前年比+179.2% (既存店計+179.2%) 前々年比△83.8% (同△83.8%)

免税を除いた店頭売上 前年比+ 0.6% (既存店計+ 1.8%) 前々年比△10.6% (同△8.9%)

○法人事業は、前年のコロナ影響による受注減の反動で前年実績を上回りました。

○7月の店頭売上は、14日までの累計で前年比+4.2% (前々年比△18.1%)、免税売上は前年比+172.8% (同△81.5%)、

免税を除いた店頭売上は前年比+3.3% (同△13.9%) で推移しています。

6月度臨時休業日数 (生活必需品売場を除く・6月20日までの土日のみ休業)

店 舗	本年	前年
大阪店、堺店、泉北店、京都店、洛西店、日本橋店、新宿店、玉川店、立川店	6日	0日